

## APPLIC 標準仕様書 正誤表

### 正誤一覧

対象ドキュメント： GIS 共通サービス標準仕様 (APPLIC-0006-2008-04)

#	【ドキュメント分類】と頁	タイトル	対応方針
001	APPLIC-0006-2008-04	“附”の文字を”付”に記載の統一。	附録、表附、図附の記載を、 付録、表付、図付に記載を統一する。
002	APPLIC-0006-2008-04 P23	地理識別子検索メッセージ定義の結果メッセージ修正。	WSDL 定義からの反映ミスを修正。
003	APPLIC-0006-2008-04 P24	場所インスタンス取得メッセージ定義の結果メッセージ修正。	WSDL 定義からの反映ミスを修正。
004	APPLIC-0006-2008-04 P25	場所インスタンス登録メッセージ定義の結果メッセージ修正。	WSDL 定義からの反映ミスを修正。
005	APPLIC-0006-2008-04 P26	場所インスタンス更新メッセージ定義の結果メッセージ修正。	WSDL 定義からの反映ミスを修正。
006	APPLIC-0006-2008-04 P27	場所インスタンス削除メッセージ定義の結果メッセージ修正。	WSDL 定義からの反映ミスを修正。
007	APPLIC-0006-2008-04 P28	サービスメタデータ取得メッセージ定義の結果メッセージ修正。	WSDL 定義からの反映ミスを修正。
008	APPLIC-0006-2008-04 P26	地図表示サービスのインタフェース一覧を修正。	WSDL 定義のファイル名称をリビジョンアップ。
009	APPLIC-0006-2008-04 P30	地図画像取得メッセージ定義の入力メッセージを修正。	各要素に対する出現回数設定の誤記修正。 (GetMapUrl のメンバ「layers」の最小出現回数を1から0に修正。)
010	APPLIC-0006-2008-04 P30	地図画像取得メッセージ定義の結果メッセージを修正。	WSDL 定義からの反映ミスを修正。
011	APPLIC-0006-2008-04 P31	地図画像 URL 取得メッセージ定義の入力メッセージを修正。	各要素に対する出現回数設定の誤記修正。 (GetMapUrl のメンバ「layers」の最小出現回数を1から0に修正。)
012	APPLIC-0006-2008-04 P31	地図画像 URL 取得メッセージ定義の結果メッセージを修正。	WSDL 定義からの反映ミスを修正。
013	APPLIC-0006-2008-04 P32	凡例画像取得メッセージ定義の結果メッセージを修正。	WSDL 定義からの反映ミスを修正。
014	APPLIC-0006-2008-04	地物情報取得メッセージ定義の	各要素に対する出現回数設定の誤記修正。

APPLIC 技術専門委員会 正誤表  
GIS 共通サービス標準仕様 (APPLIC-0006-2008-04)

	P33	入力メッセージを修正。	(GetFeatureInfo のメンバ「layers」の最小出現回数を1から0に修正。)
015	APPLIC-0006-2008-04 P33	地物情報取得メッセージ定義の結果メッセージを修正。	WSDL 定義からの反映ミスを修正。
016	APPLIC-0006-2008-04 P34	サービスメタデータ取得メッセージ定義の結果メッセージを修正。	WSDL 定義からの反映ミスを修正。
017	APPLIC-0006-2008-04 P36-P37	地名辞典サービスのための WSDL 定義を修正。	各要素に対する出現回数設定の誤記修正。 AddLocationInstance のメンバ「gazetteer」の最少出現回数 0 → 1 に修正。 AddLocationInstance のメンバ「locationInstance」の最少出現回数 0 → 1 に修正。
018	APPLIC-0006-2008-04 P36	地名辞典サービスのための WSDL 定義を修正。	各要素に対する出現回数設定の誤記修正。 (UpdateLocationInstance)
019	APPLIC-0006-2008-04 P36	地名辞典サービスのための WSDL 定義を修正。	各要素に対する出現回数設定の誤記修正。 (DeleteLocationInstance)
020	APPLIC-0006-2008-04 P37	地名辞典サービスのための WSDL 定義を修正。	各要素に対する出現回数設定の誤記修正。 (locationInstance)
021	APPLIC-0006-2008-04 P38	地名辞典サービスのための WSDL 定義を修正。	①、GetCapabilitiesResponse のデータ型である、「GazetteerServiceMetadata」のメンバに、「version」が不足している不具合を修正。 ②、「GazetteerServiceMetadata」のメンバの「updateSequence」で null 値を許容するように修正。 ③、「GazetteerServiceMetadata」のメンバの「updateSequence」の最小出現回数 0 → 1 に修正。
022	APPLIC-0006-2008-04 P38	地名辞典サービスのための WSDL 定義を修正。	データ型不具合の修正。 ( gazetteerServiceMetadata.gazetteer.date のデータ型を「temporalExtent」に修正)
023	APPLIC-0006-2008-04 P38-P39	地名辞典サービスのための WSDL 定義 XML を修正。	message 要素下 part 要素の name 属性の値を修正。(実装系によっては、通信時交換データにおける共通ヘッダ配置不備(最後尾に配置)が発生する可能性の修正) name=parameters → name=メッセージ名に合わせた一意の値に修正。
024	APPLIC-0006-2008-04 P39-P40	地名辞典サービスのための WSDL 定義 XML を修正。	binding 要素下 operation 要素の soapAction 属性の値を""(空文字)から、operation 名に

APPLIC 技術専門委員会 正誤表  
GIS 共通サービス標準仕様 (APPLIC-0006-2008-04)

			name 属性値に合わせた値に変更。
025	APPLIC-0006-2008-04 P41	地図表示サービスのための WSDL 定義を修正。	各要素に対する出現回数設定の誤記修正。 (GetMap)
026	APPLIC-0006-2008-04 P41-P42	地図表示サービスのための WSDL 定義を修正。	各要素に対する出現回数設定の誤記修正。 (GetMapUrl)
027	APPLIC-0006-2008-04 P43	地図表示サービスのための WSDL 定義を修正。	各要素に対する出現回数設定の誤記修正。 (Coordinate)
028	APPLIC-0006-2008-04 P43	地図表示サービスのための WSDL 定義を修正。	各要素に対する出現回数設定の誤記修正。 (Coordinates)
029	APPLIC-0006-2008-04 P44	地図表示サービスのための WSDL 定義を修正。	各要素に対する出現回数設定の誤記修正。 (SpatialInfo)
030	APPLIC-0006-2008-04 P44	地図表示サービスのための WSDL 定義を修正。	各要素に対する出現回数設定の誤記修正。 (AttributeInfo)
031	APPLIC-0006-2008-04 P47	地図表示サービスのための WSDL 定義を修正。	各要素に対する出現回数設定の誤記修正。 (FeatureInfo)
032	APPLIC-0006-2008-04 P45	地図表示サービスのための WSDL 定義を修正。	各要素に対する出現回数設定の誤記修正。 (Period)
033	APPLIC-0006-2008-04 P45	地図表示サービスのための WSDL 定義を修正。	各要素に対する出現回数設定の誤記修正。 (GetCapabilities)
034	APPLIC-0006-2008-04 P45-P46	地図表示サービスのための WSDL 定義を修正。	各要素に対する出現回数設定の誤記修正。 (LayerMetadata)
035	APPLIC-0006-2008-04 P46	地図表示サービスのための WSDL 定義を修正。	各要素に対する出現回数設定の誤記修正。 (FaultCode)
036	APPLIC-0006-2008-04 P43	地図表示サービスのための WSDL 定義を修正。	GetFeatureInfo の element の記述不足を修正。
037	APPLIC-0006-2008-04 P46-P47	地図表示サービスのための WSDL 定義 XML を修正。	message 要素下 part 要素の name 属性の値 を修正。(実装系によっては、通信時交換デ ータにおける共通ヘッダ配置不備(最後尾に 配置)が発生する可能性の修正) name=parameters → name=メッセージ名に 合わせた一意の値に修正。
038	APPLIC-0006-2008-04 P47-P48	地図表示サービスのための WSDL 定義 XML を修正。	binding 要素下 operation 要素の soapAction 属性の値を""(空文字)から、operation 名に name 属性値に合わせた値に変更。
039	APPLIC-0006-2008-04 P49	共通ヘッダのための WSDL 定義 XML を修正。	MsgID の出現回数定義不具合を修正。 (× minOccurs 省略→○ minOccurs=1)
040	APPLIC-0006-2008-04 P51	地名辞典サービスのための項目 セット辞書(複合型)定義を修正。	・誤記を修正。 × GeographiBoundingBox

APPLIC 技術専門委員会 正誤表  
 GIS 共通サービス標準仕様 (APPLIC-0006-2008-04)

			<p>○GeographicBoundingBox</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・出現回数の最小最大の出現回数が明確になるように記載変更。</li> </ul>
041	APPLIC-0006-2008-04 P53	地図表示サービスのための項目セット辞書定義を修正。	出現回数の最小最大の出現回数が明確になるように記載変更。
042	APPLIC-0006-2008-04 P54-P55	地図表示のための項目セット辞書(複合型)定義を修正。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・出現回数の最小最大の出現回数が明確になるように記載変更。</li> <li>・各要素に対する出現回数設定の誤記修正。</li> </ul>

## 正誤表詳細

対象ドキュメント: GIS 共通サービス標準仕様 (APPLIC-0006-2008-04)

【#001】: “附”の文字を”付”に記載の統一。

【【ドキュメント分類】と頁】 APPLIC-0006-2008-04

【対象ページ】 P56, P57, P58, P59, P60, P61, P64, P66, P67, P21

【間違いの内容】

(P56) 地名辞典の論理的なモデルを UML クラス図として、[図附2. 1](#)に示す。

(P56) [図附2. 1](#) 地名辞典の UML モデル

(P57) [図附2. 2](#)に GISDB 内で蓄積・管理する際に守るべき地名辞典の論理的なデータ構造の概要を示す。

(P57) [図附2. 2](#) 地名辞典の論理的なデータ構造の概要

(P57) PI マッピング規則 … PI 符号化規則を定めた根拠となる規則。たとえば「ISO19118」や「JPGSI ver1.0 [附属書8](#)」定めた符号化規則がある。

(P58) 地名辞典は、地理識別子のデータである場所インスタンスの集成として位置づけられる。すなわち、場所インスタンスをとりまとめたデータ集合であり、リレーショナルデータベースでいえば、テーブルのようなものととらえることができる。当該の地名辞典ではどのような種類の地理識別子を扱うかなどの管理情報が、[図附2. 1](#)の Gazetter クラスに相当する。[表附2. 1](#)に地名辞典の要素の詳細を示す。

(P58) [表附2. 1](#) 地名辞典の要素

(P59) 場所インスタンスは、地理識別子と位置情報以外の情報を扱うこともでき、[図附2. 1](#)の LocationInstance クラスで定義される。[表附2. 2](#)に場所インスタンスの要素の詳細を示す。

(P59) [表附2. 2](#) 場所インスタンスの要素

(P60) 「地理識別子による空間参照系」とは、場所型の集合により構成される、地理識別子を実世界に関連づける参照系であり、[図附2. 1](#)では PLLRS クラスで示される。当該の空間参照系で利用される場所型や、適用可能な地理範囲等の情報を示すことができる。詳細は、「PI 仕様書」を参照されたい。

(P60) 「場所型」とは、地理識別子の種類ごとにその特性を定めた型のことであり、[図附2. 1](#)では PL\_LocarionType クラスで示される。地理識別子の値を明確な構造で定義するために、PI タイプ (PI\_Type)でその記述方法を定める。詳細は、「PI 仕様書」を参照されたい。

(P61) 地名辞典交換のための符号化規則は、JPGIS Ver1.0の[附属書8](#)で示される「XMLに基づく符号化規則」を採用する。JPGIS では、符号化規則に則った JPGIS 標準スキーマの W3C XML Schema (以下、JPGIS 標準 XML Schema)を示しており、本仕様では標準 XML Schema のうち、地理識別子による空間参照スキーマとその関係スキーマを採用する。

(P64) [図附3. 1](#) 標準 XML Schema の構成

(P66) 住所情報は、自治体業務アプリケーションユニット標準仕様 V2.0 の項目セット辞書で定義される住所情報セット ([表附3. 1](#)参照)に基づいて整備される。

(P66) [表附3. 1](#) 住所情報セット

(P66) [表附3. 2](#) 住所情報のための空間参照系の定義

(P67) [表附3. 3](#) 住所情報型の定義

- (P67) 住所情報型の応用スキーマを UML クラス図にて、図附3. 2に示す。また、応用スキーマ定義文書を表附3. 4に示す。
- (P67) 図附3. 2 住所情報型の応用スキーマ(UML クラス図)
- (P67) 表附3. 4 住所情報型の応用スキーマ定義文書
- (P21) 日本における座標参照系の表記は、JIS X 7115の附属書2で規定されている。本仕様は、JIS X 7115より引用して識別子を規定した。原子・座標系の定義など、座標参照系の表記についての詳細は、JIS X 7115を参考にされたい。

【正しい内容】

- (P56) 地名辞典の論理的なモデルを UML クラス図として、図付2. 1に示す。
- (P56) 図付2. 1 地名辞典の UML モデル
- (P57) 図付2. 2に GISDB 内で蓄積・管理する際に守るべき地名辞典の論理的なデータ構造の概要を示す。
- (P57) 図付2. 2 地名辞典の論理的なデータ構造の概要
- (P57) PI マッピング規則 … PI 符号化規則を定めた根拠となる規則。たとえば「ISO19118」や「JPGSI ver1.0 附属書8」定めた符号化規則がある。
- (P58) 地名辞典は、地理識別子のデータである場所インスタンスの集成として位置づけられる。すなわち、場所インスタンスをとりまとめたデータ集合であり、リレーショナルデータベースでいえば、テーブルのようなものととらえることができる。当該の地名辞典ではどのような種類の地理識別子を扱うかなどの管理情報が、図付2. 1の Gazetteer クラスに相当する。表付2. 1に地名辞典の要素の詳細を示す。
- (P58) 表付2. 1 地名辞典の要素
- (P59) 場所インスタンスは、地理識別子と位置情報以外の情報を扱うこともでき、図付2. 1の LocationInstance クラスで定義される。表付2. 2に場所インスタンスの要素の詳細を示す。
- (P59) 表付2. 2 場所インスタンスの要素
- (P60) 「地理識別子による空間参照系」とは、場所型の集合により構成される、地理識別子を実世界に関連づける参照系であり、図付2. 1では PLLRS クラスで示される。当該の空間参照系で利用される場所型や、適用可能な地理範囲等の情報を示すことができる。詳細は、「PI 仕様書」を参照されたい。
- (P60) 「場所型」とは、地理識別子の種類ごとにその特性を定めた型のことであり、図付2. 1では PL\_LocarionType クラスで示される。地理識別子の値を明確な構造で定義するために、PI タイプ(PI\_Type)でその記述方法を定める。詳細は、「PI 仕様書」を参照されたい。
- (P61) 地名辞典交換のための符号化規則は、JPGIS Ver1.0の附属書8で示される「XML に基づく符号化規則」を採用する。JPGIS では、符号化規則に則った JPGIS 標準スキーマの W3C XML Schema(以下、JPGIS 標準 XML Schema)を示しており、本仕様では標準 XML Schema のうち、地理識別子による空間参照スキーマとその関係スキーマを採用する。
- (P64) 図付3. 1 標準 XML Schema の構成
- (P66) 住所情報は、自治体業務アプリケーションユニット標準仕様 V2.0 の項目セット辞書で定義される住所情報セット(表付3. 1参照)に基づいて整備される。
- (P66) 表付3. 1 住所情報セット
- (P66) 表付3. 2 住所情報のための空間参照系の定義
- (P67) 表付3. 3 住所情報型の定義

(P67) 住所情報型の応用スキーマを UML クラス図にて、図付 3. 2 に示す。また、応用スキーマ定義文書を表付 3. 4 に示す。

(P67) 図付 3. 2 住所情報型の応用スキーマ(UML クラス図)

(P67) 表付 3. 4 住所情報型の応用スキーマ定義文書

(P21) 日本における座標参照系の表記は、JIS X 7115 の付属書 2 で規定されている。本仕様は、JIS X 7115 より引用して識別子を規定した。原子・座標系の定義など、座標参照系の表記についての詳細は、JIS X 7115 を参考にされたい。

【#002】: 地理識別子検索メッセージ定義の結果メッセージ修正。

【【ドキュメント分類】と頁】 APPLIC-0006-2008-04

【対象ページ】 P23

【間違った内容】 WSDL 定義からの反映ミスを修正。

メッセージ定義		サービス名	地名辞典			メッセージ定義名	SearchPIResponse		
NO	データ項目	データ型	桁数	コード		出現回数		サンプル値	項目説明
				C	D	最小	最大		
1	SearchPIResponse	PI				0	N		地理識別子検索結果情報

【正しい内容】

メッセージ定義		サービス名	地名辞典			メッセージ定義名	SearchPIResponse		
NO	データ項目	データ型	桁数	コード		出現回数		サンプル値	項目説明
				C	D	最小	最大		
1	SearchPIResponse					1	1		地理識別子検索結果情報
2	return	pi				0	N		地理識別子検索結果

【#003】: 場所インスタンス取得メッセージ定義の結果メッセージ修正。

【【ドキュメント分類】と頁】 APPLIC-0006-2008-04

【対象ページ】 P24

【間違った内容】 WSDL 定義からの反映ミスを修正。

メッセージ定義		サービス名	地名辞典			メッセージ定義名	GetLocationInstanceResponse		
NO	データ項目	データ型	桁数	コード		出現回数		サンプル値	項目説明
				C	D	最小	最大		
1	GetLocationInstanceResponse	LocationInstance				0	N		場所インスタンス情報

【正しい内容】

メッセージ定義		サービス名	地名辞典			メッセージ定義名	GetLocationInstanceResponse		
NO	データ項目	データ型	桁数	コード		出現回数		サンプル値	項目説明
				C	D	最小	最大		
1	GetLocationInstanceResponse					1	1		場所インスタンス取得結果情報
2	return	Location Instance				0	N		場所インスタンス情報

【#004】: 場所インスタンス登録メッセージ定義の結果メッセージ修正。

【【ドキュメント分類】と頁】 APPLIC-0006-2008-04

【対象ページ】 P25

【間違った内容】 WSDL 定義からの反映ミスを修正。

メッセージ定義			サービス名	地名辞典				メッセージ定義名	AddLocationInstanceResponse		
NO	データ項目			データ型	桁数	コード		出現回数		サンプル値	項目説明
						C	D	コード名	最小		
1	AddLocationInstanceResponse			boolean				1	1		場所インスタンス登録結果 1件でも登録に失敗した場合にはfalse が発生する。 処理に失敗した場合、地名辞典を処理前 の状態に戻すこと。

【正しい内容】

メッセージ定義			サービス名	地名辞典				メッセージ定義名	AddLocationInstanceResponse		
NO	データ項目			データ型	桁数	コード		出現回数		サンプル値	項目説明
						C	D	コード名	最小		
1	AddLocationInstanceResponse							1	1		場所インスタンス登録結果情報
2	return			boolean				1	1	true	場所インスタンス登録結果 1件でも登録に失敗した場合にはfalse が発生する。 処理に失敗した場合、地名辞典を処理前 の状態に戻すこと。

【#005】: 場所インスタンス更新メッセージ定義の結果メッセージ修正。

【【ドキュメント分類】と頁】 APPLIC-0006-2008-04

【対象ページ】 P26

【間違った内容】 WSDL 定義からの反映ミスを修正。

メッセージ定義			サービス名	地名辞典				メッセージ定義名	UpdateLocationInstanceResponse		
NO	データ項目			データ型	桁数	コード		出現回数		サンプル値	項目説明
						C	D	コード名	最小		
1	UpdateLocationInstanceResponse			boolean				1	1		場所インスタンス更新結果 1件でも更新に失敗した場合にはfalse を返す。 処理に失敗した場合、地名辞典は処理前 の状態に戻すこと。

【正しい内容】

メッセージ定義			サービス名	地名辞典				メッセージ定義名	UpdateLocationInstanceResponse		
NO	データ項目			データ型	桁数	コード		出現回数		サンプル値	項目説明
						C	D	コード名	最小		
1	UpdateLocationInstanceResponse							1	1		場所インスタンス更新結果情報
2	return			boolean				1	1	true	場所インスタンス更新結果 1件でも更新に失敗した場合にはfalse を返す。 処理に失敗した場合、地名辞典は処理前 の状態に戻すこと。



【#006】: 場所インスタンス削除メッセージ定義の結果メッセージ修正。

【【ドキュメント分類】と頁】 APPLIC-0006-2008-04

【対象ページ】 P27

【間違った内容】 WSDL 定義からの反映ミスを修正。

メッセージ定義			サービス名	地名辞典			メッセージ定義名	DeleteLocationInstanceResponse			
NO	データ項目			データ型	桁数	コード		出現回数		サンプル値	項目説明
						C	D	最小	最大		
1	DeleteLocationInstanceResponse			boolean				1	1		場所インスタンス削除結果 1件でも削除に失敗した場合にはfalse を返す。 処理に失敗した場合、地名辞典は処理前 の状態に戻すこと。

【正しい内容】

メッセージ定義			サービス名	地名辞典			メッセージ定義名	DeleteLocationInstanceResponse			
NO	データ項目			データ型	桁数	コード		出現回数		サンプル値	項目説明
						C	D	最小	最大		
1	DeleteLocationInstanceResponse							1	1		場所インスタンス削除結果情報
2	return			boolean				1	1	false	場所インスタンス削除結果 1件でも削除に失敗した場合にはfalse を返す。 処理に失敗した場合、地名辞典は処理前 の状態に戻すこと。

【#007】: サービスメタデータ取得メッセージ定義の結果メッセージ修正。

【【ドキュメント分類】と頁】 APPLIC-0006-2008-04

【対象ページ】 P28

【間違った内容】 WSDL 定義からの反映ミスを修正。

メッセージ定義			サービス名	地名辞典			メッセージ定義名	GetCapabilitiesResponse			
NO	データ項目			データ型	桁数	コード		出現回数		サンプル値	項目説明
						C	D	最小	最大		
1	GetCapabilitiesResponse			GazetteerService Metadata				1	1		地名辞典サービスメタデータ

【正しい内容】

メッセージ定義			サービス名	地名辞典			メッセージ定義名	GetCapabilitiesResponse			
NO	データ項目			データ型	桁数	コード		出現回数		サンプル値	項目説明
						C	D	最小	最大		
1	GetCapabilitiesResponse							1	1		サービスメタデータ取得結果情報
2	return			GazetteerService Metadata				0	1		地名辞典サービスメタデータ

【#008】: 地図表示サービスのインターフェース一覧を修正。

【【ドキュメント分類】と頁】 APPLIC-0006-2008-04

【対象ページ】 P26

【間違った内容】 WSDL 定義のファイル名称をリビジョンアップ。

インターフェース一覧			サービス名	地図表示
インターフェース番号	機能	入出力	メッセージ定義	WSDL 定義
GS. 2. 1	地図画像取得	IN	GetMap	gxmlGS02s-0100. wsd   gxmlGS02s-0100. xsd  gxmlGSheader-0200. xsd
		OUT	GetMapResponse	
GS. 2. 2	地図画像URL取得	IN	GetMapUr l	
		OUT	GetMapUr lResponse	
GS. 2. 3	凡例画像取得	IN	GetLegendImage	
		OUT	GetLegendImageResponse	
GS. 2. 4	地物情報取得	IN	GetFeatureInfo	
		OUT	GetFeatureInfoResponse	
GS. 2. 5	サービスメタデータ取得	IN	GetCapabilities	
		OUT	GetCapabilitiesResponse	

【正しい内容】

インターフェース一覧			サービス名	地図表示
インターフェース番号	機能 (レベル02)	入出力	メッセージ定義	WSDL 定義
GS. 2. 1	地図画像取得	IN	GetMap	gxmlGS02s-0200. wsd   gxmlGS02s-0200. xsd  gxmlGSheader-0200. xsd
		OUT	GetMapResponse	
GS. 2. 2	地図画像URL取得	IN	GetMapUr l	
		OUT	GetMapUr lResponse	
GS. 2. 3	凡例画像取得	IN	GetLegendImage	
		OUT	GetLegendImageResponse	
GS. 2. 4	地物情報取得	IN	GetFeatureInfo	
		OUT	GetFeatureInfoResponse	
GS. 2. 5	サービスメタデータ取得	IN	GetCapabilities	
		OUT	GetCapabilitiesResponse	

【#009】:地図画像取得メッセージ定義の、入力メッセージを修正。

【【ドキュメント分類】と頁】 APPLIC-0006-2008-04

【対象ページ】 P30

【間違った内容】各要素に対する出現回数設定の誤記。(GetMapUrl のメンバ「layers」の最小出現回数を1から0に修正。)

メッセージ定義		サービス名	地図表示		メッセージ定義名	GetMapUrl	
NO	データ項目名	データ型	桁数	出現回数		サンプル値	項目説明
				C	D		
1	GetMapUrl			1	1		地図画像URL取得情報
2	layers	DrawLayer		1	N		描画レイヤのリスト
3	highlightFeatures	FeatureIdentifier		0	N		強調表示する地物IDリスト
4	bBox	BoundingBox		1	1		描画する場所の地理座標範囲 (左上、右下)
5	time	Period		0	1		描画する地図の時間範囲 (時間により描画すべき地図が変化する場合に有効であり、実装は任意)
6	crs	X	250	1	1	JGD200 / 9 (X, Y)	描画する地図の座標参照系
7	scale	S9V	12, 8	0	1	25000	描画する地図の縮尺の分母
8	width	9	8	1	1	640	地図画像のピクセル単位の幅
9	height	9	8	1	1	480	地図画像のピクセル単位の高さ
10	format	X	250	1	1	image/jpeg	地図画像の出力フォーマット (image/jpeg、image/pngなどのMIMEタイプ)
11	transparent	boolean		1	1		地図画像の背景の透明性 (true: 透過する false: 透過しない)
12	bgColor	X	8	0	1	0xffffffff	地図画像の背景色 (0xで始まるRGBの16進数表現)
13	rotation	9	3	0	1	180	地図画像の回転角度 (真北方向を0度とし、反時計回りの角度で指定する。指定範囲は0~360の範囲とする。)

【正しい内容】

メッセージ定義		サービス名	地図表示		メッセージ定義名	GetMap	
NO	データ項目	データ型	桁数	出現回数		サンプル値	項目説明
				C	D		
1	GetMap			1	1		地図画像取得情報
2	layers	DrawLayer		0	N		描画するレイヤのリスト
3	highlightFeatures	FeatureIdentifier		0	N		強調表示する地物IDリスト
4	bBox	BoundingBox		1	1		描画する地図の地理座標範囲 (時間により描画すべき地図が変化する場合に有効であり、実装は任意)
5	time	Period		0	1		描画する地図の時間範囲
6	crs	X	250	1	1	JGD2000 / 9 (X, Y)	描画する地図の座標参照系
7	scale	S9V	12, 8	0	1	25000	描画する地図の縮尺の分母
8	width	9	8	1	1	640	地図画像のピクセル単位の幅
9	height	9	8	1	1	480	地図画像のピクセル単位の高さ
10	format	X	250	1	1	image/jpeg	地図画像の出力フォーマット (image/jpeg、image/pngなどのMIMEタイプ)
11	transparent	boolean		1	1	true	地図画像の背景の透明性 (true: 透過する false: 透過しない)
12	bgColor	X	8	0	1	0xffffffff	地図画像の背景色 (0xで始まるRGBの16進数表現)
13	rotation	9	3	0	1	180	地図画像の回転角度 (真北方向を0度とし、反時計回りの角度で指定する。指定範囲は0~360の範囲とする。) 実装は任意

【#010】:地図画像取得メッセージ定義の、結果メッセージを修正。

【【ドキュメント分類】と頁】 APPLIC-0006-2008-04

【対象ページ】 P30

【間違いの内容】 WSDL 定義からの反映ミスを修正。

メッセージ定義		サービス名	地名辞典				メッセージ定義名	GetMapResponse	
NO	データ項目	データ型	桁数	コード		出現回数		サンプル値	項目説明
				C	D	最小	最大		
1	GetMapResponse	MapImage				1	1		地図画像情報

【正しい内容】

メッセージ定義		サービス名	地名辞典				メッセージ定義名	GetMapResponse	
NO	データ項目	データ型	桁数	コード		出現回数		サンプル値	項目説明
				C	D	最小	最大		
1	GetMapResponse					1	1		地図画像取得結果情報
2	GetMapReturn	MapImage				1	1		地図画像情報

【#011】: 地図画像 URL 取得メッセージ定義の入力メッセージを修正。

【【ドキュメント分類】と頁】 APPLIC-0006-2008-04

【対象ページ】 P31

【間違った内容】各要素に対する出現回数設定の誤記。(GetMapUrl のメンバ「layers」の最小出現回数を1から0に修正。)

メッセージ定義		サービス名	地図表示		メッセージ定義名	GetMapUrl	
NO	データ項目名	データ型	桁数	出現回数		サンプル値	項目説明
				C	D		
1	GetMapUrl						地図画像URL取得情報
2	layers	DrawLayer		1	N		描画レイヤのリスト
3	highlightFeatures	FeatureIdentifier		0	N		強調表示する地物IDリスト
4	bBox	BoundingBox		1	1		描画する場所の地理座標範囲 (左上、右下)
5	time	Period		0	1		描画する場所の時間範囲
6	crs	X	250	1	1	JGD200 / 9 (X, Y)	描画する地図の座標参照系
7	scale	S9V	12, 8	0	1	25000	描画する地図の縮尺の分母
8	width	9	8	1	1	640	地図画像のピクセル単位の幅
9	height	9	8	1	1	480	地図画像のピクセル単位の高さ
10	format	X	250	1	1	image/jpeg	地図画像の出力フォーマット (image/jpeg、image/pngなどのMIMEタイプ)
11	transparent	boolean		1	1		地図画像の背景の透明性 (true: 透過する false: 透過しない)
12	bgColor	X	8	0	1	0xffffffff	地図画像の背景色 (0xで始まるRGBの16進数表現)
13	rotation	9	3	0	1	180	地図画像の回転角度 (真北方向を0度とし、反時計回りの角度で指定する。指定範囲は0~360の範囲とする。)

【正しい内容】

メッセージ定義		サービス名	地図表示		メッセージ定義名	GetMapUrl	
NO	データ項目名	データ型	桁数	出現回数		サンプル値	項目説明
				C	D		
1	GetMapUrl						地図画像URL取得情報
2	layers	DrawLayer		0	N		描画するレイヤのリスト
3	highlightFeatures	FeatureIdentifier		0	N		強調表示する地物IDリスト
4	bBox	BoundingBox		1	1		描画する地図の地理座標範囲
5	time	Period		0	1		描画する地図の時間範囲 (時間により描画すべき地図が変化する場合に有効であり、実装は任意)
6	crs	X	250	1	1	JGD2000 / 9 (X, Y)	描画する地図の座標参照系
7	scale	S9V	12, 8	0	1	25000	描画する地図の縮尺の分母
8	width	9	8	1	1	640	地図画像のピクセル単位の幅
9	height	9	8	1	1	480	地図画像のピクセル単位の高さ
10	format	X	250	1	1	image/jpeg	地図画像の出力フォーマット (image/jpeg、image/pngなどのMIMEタイプ)
11	transparent	boolean		1	1	true	地図画像の背景の透明性 (true: 透過する false: 透過しない)
12	bgColor	X	8	0	1	0xffffffff	地図画像の背景色 (0xで始まるRGBの16進数表現)
13	rotation	9	3	0	1	180	地図画像の回転角度 (真北方向を0度とし、反時計回りの角度で指定する。指定範囲は0~360の範囲とする。) 実装は任意

【#012】:地図画像 URL 取得メッセージ定義の、結果メッセージを修正。

【【ドキュメント分類】と頁】 APPLIC-0006-2008-04

【対象ページ】 P30

【間違った内容】 WSDL 定義からの反映ミスを修正。

メッセージ定義		サービス名	地名辞典			メッセージ定義名	GetMapUrIResponse		
NO	データ項目名	データ型	桁数	コード		出現回数		サンプル値	項目説明
				C	D	最小	最大		
1	GetMapUrIResponse	MapImageUrI				1	1		地図画像URL情報

【正しい内容】

メッセージ定義		サービス名	地名辞典			メッセージ定義名	GetMapUrIResponse		
NO	データ項目名	データ型	桁数	コード		出現回数		サンプル値	項目説明
				C	D	最小	最大		
1	GetMapUrIResponse					1	1		地図画像URL取得結果情報
2	GetMapUrIReturn	MapImageUrI				1	1		地図画像URL情報

【#013】: 凡例画像取得メッセージ定義の結果メッセージを修正。

【【ドキュメント分類】と頁】 APPLIC-0006-2008-04

【対象ページ】 P32

【間違った内容】 WSDL 定義からの反映ミスを修正。

メッセージ定義		サービス名	地名辞典			メッセージ定義名	GetLegendImageResponse		
NO	データ項目	データ型	桁数	コード		出現回数		サンプル値	項目説明
				C	D	最小	最大		
1	GetLegendImageResponse	ImageInfo				1	1		凡例画像情報

【正しい内容】

メッセージ定義		サービス名	地名辞典			メッセージ定義名	GetLegendImageResponse		
NO	データ項目	データ型	桁数	コード		出現回数		サンプル値	項目説明
				C	D	最小	最大		
1	GetLegendImageResponse	ImageInfo				1	1		凡例画像取得結果情報
2	GetLegendImageReturn	ImageInfo				1	1		凡例画像情報

【#014】: 地物情報取得メッセージ定義の入力メッセージを修正。

【【ドキュメント分類】と頁】 APPLIC-0006-2008-04

【対象ページ】 P33

【間違った内容】各要素に対する出現回数設定の誤記。(GetFeatureInfo のメンバ「layers」の最小出現回数を1から0に修正。)

メッセージ定義		サービス名	地図表示		メッセージ定義名	GetFeatureInfo	
NO	データ項目	データ型	桁数	出現回数		サンプル値	項目説明
				C	D		
1	GetFeatureInfo				1	1	地物情報取得情報
2	getMap				1	1	取得する情報の対象である地図を生成した地図画像取得要求メッセージ内容のコピー。
3	layers	DrawLayer			1	N	描画レイヤのリスト
4	highlightFeatures	FeatureIdentifier			0	N	強調表示する地物IDリスト
5	bBox	BoundingBox			1	1	描画する場所の地理座標範囲 (左上、右下)
6	time	Period			0	1	描画する場所の時間範囲
7	crs	X	250		1	1	JGD200 / 9 (X, Y)
8	scale	S9V	12, 8		0	1	25000
9	width	9	8		1	1	640
10	height	9	8		1	1	480
11	format	X	250		1	1	image/jpeg
12	transparent	boolean			1	1	地図画像の背景の透明性 (true: 透過する false: 透過しない)
13	bgColor	X	8		0	1	0xffffffff
14	rotation	9	3		0	1	180
15	queryLayers	DrawLayer			1	N	問い合わせするレイヤのリスト
16	featureCount	9	8		0	1	1
17	position				1	1	1
18	i	9	8		1	1	1
19	j	9	8		1	1	1

【正しい内容】

メッセージ定義		サービス名	地図表示		メッセージ定義名	GetFeatureInfo	
NO	データ項目	データ型	桁数	出現回数		サンプル値	項目説明
				C	D		
1	GetFeatureInfo				1	1	地物情報取得情報
2	getMap				1	1	取得する情報の対象である地図を生成した地図画像取得要求メッセージ内容のコピー。
3	layers	DrawLayer			0	N	描画レイヤのリスト
4	highlightFeatures	FeatureIdentifier			0	N	強調表示する地物IDリスト
5	bBox	BoundingBox			1	1	描画する場所の地理座標範囲
6	time	Period			0	1	描画する場所の時間範囲
7	crs	X	250		1	1	JGD2000 / 9 (X, Y)
8	scale	S9V	12, 8		0	1	25000
9	width	9	8		1	1	640
10	height	9	8		1	1	480
11	format	X	250		1	1	image/jpeg
12	transparent	boolean			1	1	true
13	bgColor	X	8		0	1	0xffffffff
14	rotation	9	3		0	1	0
15	queryLayers	DrawLayer			1	N	問い合わせするレイヤのリスト
16	featureCount	9	8		0	1	10
17	position				1	1	1
18	i	9	8		1	1	320
19	j	9	8		1	1	240

【#015】: 地物情報取得メッセージ定義の結果メッセージを修正。

【【ドキュメント分類】と頁】 APPLIC-0006-2008-04

【対象ページ】 P33

【間違った内容】WSDL 定義からの反映ミスを修正。

メッセージ定義		サービス名	地名辞典		メッセージ定義名	GetFeatureInfoResponse		
NO	データ項目	データ型	桁数	コード		出現回数	サンプル値	項目説明
				C	D			
1	GetFeatureInfoResponse	FeatureInfo				0	N	地物情報

メッセージ定義		サービス名	地名辞典		メッセージ定義名	GetFeatureInfoResponse		
NO	データ項目	データ型	桁数	コード		出現回数	サンプル値	項目説明
				C	D			
1	GetFeatureInfoResponse					1	1	地物情報取得結果情報
2	GetFeatureInfoReturn	FeatureInfo				0	N	地物情報

【#016】: サービスメタデータ取得メッセージ定義の結果メッセージを修正。

【【ドキュメント分類】と頁】 APPLIC-0006-2008-04

【対象ページ】 P34

【間違った内容】WSDL 定義からの反映ミスを修正。

メッセージ定義		サービス名	地図表示		メッセージ定義名	GetCapabilitiesResponse		
NO	データ項目	データ型	桁数	コード		出現回数	サンプル値	項目説明
				C	D			
1	GetCapabilitiesResponse	ServiceMetadata				1	1	地図表示サービスメタデータ

【正しい内容】

メッセージ定義		サービス名	地図表示		メッセージ定義名	GetCapabilitiesResponse		
NO	データ項目	データ型	桁数	コード		出現回数	サンプル値	項目説明
				C	D			
1	GetCapabilitiesResponse					1	1	サービスメタデータ取得結果情報
2	GetCapabilitieReturn	ServiceMetadata				0	1	地図表示サービスメタデータ



【#017】: 地名辞典サービスのための WSDL 定義を修正。

【【ドキュメント分類】と頁】 APPLIC-0006-2008-04

【対象ページ】 P36-P37

【間違った内容】各要素に対する出現回数設定の誤記。

AddLocationInstance のメンバ「gazetteer」の最少出現回数 0 → 1 に修正。

AddLocationInstance のメンバ「locationInstance」の最少出現回数 0 → 1 に修正。

```
<xsd:complexType name="AddLocationInstance">
  <xsd:sequence>
    <xsd:element name="共通ヘッダ" type="tns:共通ヘッダ情報"/>
    <xsd:element name="gazetteer" type="xsd:string" minOccurs="0"/>
    <xsd:element name="locationInstance" type="tns:locationInstance" minOccurs="0"
maxOccurs="unbounded"/>
  </xsd:sequence>
</xsd:complexType>
```

【正しい内容】

```
<xsd:complexType name="AddLocationInstance">
  <xsd:sequence>
    <xsd:element name="共通ヘッダ" type="tns:共通ヘッダ情報"/>
    <xsd:element name="gazetteer" type="xsd:string"/>
    <xsd:element name="locationInstance" type="tns:locationInstance"
maxOccurs="unbounded"/>
  </xsd:sequence>
</xsd:complexType>
```

【#018】: 地名辞典サービスのための WSDL 定義を修正。

【【ドキュメント分類】と頁】 APPLIC-0006-2008-04

【対象ページ】 P36

【間違った内容】各要素に対する出現回数設定の誤記。

UpdateLocationInstance のメンバ「gazetteer」の最少出現回数 0 → 1 に修正。

UpdateLocationInstance のメンバ「locationInstance」の最少出現回数 0 → 1 に修正。

```
<xsd:complexType name="UpdateLocationInstance">
  <xsd:sequence>
    <xsd:element name="共通ヘッダ" type="tns:共通ヘッダ情報"/>
    <xsd:element name="gazetteer" type="xsd:string" minOccurs="0"/>
    <xsd:element name="locationInstance" type="tns:locationInstance" minOccurs="0"
maxOccurs="unbounded"/>
  </xsd:sequence>
</xsd:complexType>
```

【正しい内容】

```
<xsd:complexType name="UpdateLocationInstance">
  <xsd:sequence>
    <xsd:element name="共通ヘッダ" type="tns:共通ヘッダ情報"/>
    <xsd:element name="gazetteer" type="xsd:string"/>
    <xsd:element name="locationInstance" type="tns:locationInstance"
maxOccurs="unbounded"/>
  </xsd:sequence>
</xsd:complexType>
```

【#019】: 地名辞典サービスのための WSDL 定義を修正。

【【ドキュメント分類】と頁】 APPLIC-0006-2008-04

【対象ページ】 P36

【間違った内容】各要素に対する出現回数設定の誤記。

DeleteLocationInstance のメンバ「gazetteer」の最少出現回数 0 → 1 に修正。

DeleteLocationInstance のメンバ「geographicIdentifier」の最少出現回数 0 → 1 に修正。

```
<xsd:complexType name="DeleteLocationInstance">
  <xsd:sequence>
    <xsd:element name="共通ヘッダ" type="tns:共通ヘッダ情報"/>
    <xsd:element name="gazetteer" type="xsd:string" minOccurs="0"/>
    <xsd:element name="geographicIdentifier" type="xsd:string" minOccurs="0"
maxOccurs="unbounded"/>
  </xsd:sequence>
</xsd:complexType>
```

【正しい内容】

```
<xsd:complexType name="DeleteLocationInstance">
  <xsd:sequence>
    <xsd:element name="共通ヘッダ" type="tns:共通ヘッダ情報"/>
    <xsd:element name="gazetteer" type="xsd:string"/>
    <xsd:element name="geographicIdentifier" type="xsd:string" maxOccurs="unbounded"/>
  </xsd:sequence>
</xsd:complexType>
```

【#020】: 地名辞典サービスのための WSDL 定義を修正。

【【ドキュメント分類】と頁】 APPLIC-0006-2008-04

【対象ページ】 P37

【間違った内容】各要素に対する出現回数設定の誤記。

locationInstance のメンバ「locationType」の最少出現回数 0 → 1 に修正。

locationInstance のメンバ「PI」の最少出現回数 0 → 1 に修正。

```
<xsd:complexType name="locationInstance">
  <xsd:sequence>
    <xsd:element name="administrator" type="xsd:string" minOccurs="0"/>
    <xsd:element name="alternativeGeographicIdentifier" type="xsd:string" nillable="true"
minOccurs="0" maxOccurs="unbounded"/>
    <xsd:element name="geographicExtent" type="tns:geographicExtent" minOccurs="0"/>
    <xsd:element name="locationType" type="xsd:string" minOccurs="0"/>
    <xsd:element name="PI" type="tns:pi" minOccurs="0"/>
    <xsd:element name="position" type="tns:position" minOccurs="0"/>
    <xsd:element name="temporalExtent" type="tns:temporalExtent" minOccurs="0"/>
  </xsd:sequence>
</xsd:complexType>
```

【正しい内容】

```
<xsd:complexType name="locationInstance">
  <xsd:sequence>
    <xsd:element name="administrator" type="xsd:string" minOccurs="0"/>
    <xsd:element name="alternativeGeographicIdentifier" type="xsd:string" nillable="true"
minOccurs="0" maxOccurs="unbounded"/>
    <xsd:element name="geographicExtent" type="tns:geographicExtent" minOccurs="0"/>
    <xsd:element name="locationType" type="xsd:string"/>
    <xsd:element name="PI" type="tns:pi"/>
    <xsd:element name="position" type="tns:position" minOccurs="0"/>
    <xsd:element name="temporalExtent" type="tns:temporalExtent" minOccurs="0"/>
  </xsd:sequence>
</xsd:complexType>
```

【#021】: 地名辞典サービスのための WSDL 定義を修正。

【【ドキュメント分類】と頁】 APPLIC-0006-2008-04

【対象ページ】 P38

【間違った内容】以下の3点を修正。

- ①、GetCapabilitiesResponse のデータ型である、「GazetteerServiceMetadata」のメンバに、「version」が不足している不具合を修正。
- ②、「GazetteerServiceMetadata」のメンバの「updateSequence」で null 値を許容するように修正。
- ③、「GazetteerServiceMetadata」のメンバの「updateSequence」の最少出現回数0→1に修正。

```
<xsd:complexType name="gazetteerServiceMetadata">
  <xsd:sequence>
    <xsd:element name="canUpdateLocationInstance" type="xsd:boolean"/>
    <xsd:element name="gazetteer" type="tns:gazetteer" nillable="true" minOccurs="0"
maxOccurs="unbounded"/>
    <xsd:element name="gazetteerStatistics" type="tns:gazetteerStatistics" nillable="true"
minOccurs="0" maxOccurs="unbounded"/>
    <xsd:element name="updateSequence" type="xsd:string" minOccurs="0"/>
  </xsd:sequence>
</xsd:complexType>
```

【正しい内容】

```
<xsd:complexType name="gazetteerServiceMetadata">
  <xsd:sequence>
    <xsd:element name="version" type="xsd:string"/>
    <xsd:element name="canUpdateLocationInstance" type="xsd:boolean"/>
    <xsd:element name="gazetteer" type="tns:gazetteer" nillable="true" minOccurs="0"
maxOccurs="unbounded"/>
    <xsd:element name="gazetteerStatistics" type="tns:gazetteerStatistics" nillable="true"
minOccurs="0" maxOccurs="unbounded"/>
    <xsd:element name="updateSequence" type="xsd:string" nillable="true"/>
  </xsd:sequence>
</xsd:complexType>
```

【#022】: 地名辞典サービスのための WSDL 定義を修正。

【【ドキュメント分類】と頁】 APPLIC-0006-2008-04

【対象ページ】 P38

【間違いの内容】 データ型不具合の修正。( gazetteerServiceMetadata.gazetteer.date のデータ型を「temporalExtent」に修正)

```
<xsd:complexType name="gazetteer">
  <xsd:sequence>
    <xsd:element name="crs" type="xsd:string" minOccurs="0"/>
    <xsd:element name="custodian" type="xsd:string" minOccurs="0"/>
    <xsd:element name="date" type="tns:temporalExtent" minOccurs="0"/>
    <xsd:element name="name" type="xsd:string"/>
    <xsd:element name="scope" type="xsd:string" minOccurs="0"/>
    <xsd:element name="alias" type="xsd:string" minOccurs="0"/>
    <xsd:element name="territoryOfUse" type="xsd:dateTime" minOccurs="0"/>
  </xsd:sequence>
</xsd:complexType>
```

【正しい内容】

```
<xsd:complexType name="gazetteer">
  <xsd:sequence>
    <xsd:element name="crs" type="xsd:string" minOccurs="0"/>
    <xsd:element name="custodian" type="xsd:string" minOccurs="0"/>
    <xsd:element name="date" type="tns:temporalExtent" minOccurs="0"/>
    <xsd:element name="name" type="xsd:string"/>
    <xsd:element name="scope" type="xsd:string" minOccurs="0"/>
    <xsd:element name="alias" type="xsd:string" minOccurs="0"/>
    <xsd:element name="territoryOfUse" type="tns:geographicExtent" minOccurs="0"/>
  </xsd:sequence>
</xsd:complexType>
```

【#023】: 地名辞典サービスのための WSDL 定義 XML を修正。

【【ドキュメント分類】と頁】 APPLIC-0006-2008-04

【対象ページ】 P38-P39

【間違った内容】 message 要素下 part 要素の name 属性の値を修正。(実装系によっては、通信時交換データにおける共通ヘッダ配置不備(最後尾に配置)が発生する可能性の修正)  
name=parameters → name=メッセージ名に合わせた一意の値に修正。

```
<message name="SearchPI">
  <part element="sch:SearchPI" name="parameters"/>
</message>
<message name="SearchPIResponse">
  <part element="sch:SearchPIResponse" name="parameters"/>
</message>
<message name="GetLocationInstance">
  <part element="sch:GetLocationInstance" name="parameters"/>
</message>
<message name="GetLocationInstanceResponse">
  <part element="sch:GetLocationInstanceResponse" name="parameters"/>
</message>
<message name="AddLocationInstance">
  <part element="sch:AddLocationInstance" name="parameters"/>
</message>
<message name="AddLocationInstanceResponse">
  <part element="sch:AddLocationInstanceResponse" name="parameters"/>
</message>
<message name="UpdateLocationInstance">
  <part element="sch:UpdateLocationInstance" name="parameters"/>
</message>
<message name="UpdateLocationInstanceResponse">
  <part element="sch:UpdateLocationInstanceResponse" name="parameters"/>
</message>
<message name="DeleteLocationInstance">
  <part element="sch:DeleteLocationInstance" name="parameters"/>
</message>
<message name="DeleteLocationInstanceResponse">
  <part element="sch:DeleteLocationInstanceResponse" name="parameters"/>
</message>
<message name="GetCapabilities">
  <part element="sch:GetCapabilities" name="parameters"/>
</message>
<message name="GetCapabilitiesResponse">
  <part element="sch:GetCapabilitiesResponse" name="parameters"/>
</message>
```

【正しい内容】

```
<message name="SearchPI">
  <part name="SearchPI" element="sch:SearchPI"/>
</message>
<message name="SearchPIResponse">
  <part name="SearchPIResponse" element="sch:SearchPIResponse"/>
</message>
```

APPLIC 技術専門委員会 正誤表  
GIS 共通サービス標準仕様 (APPLIC-0006-2008-04)

```
</message>
<message name="GetLocationInstance">
  <part name="GetLocationInstance" element="sch:GetLocationInstance"/>
</message>
<message name="GetLocationInstanceResponse">
  <part name="GetLocationInstanceResponse" element="sch:GetLocationInstanceResponse"/>
</message>
<message name="AddLocationInstance">
  <part name="AddLocationInstance" element="sch:AddLocationInstance"/>
</message>
<message name="AddLocationInstanceResponse">
  <part name="AddLocationInstanceResponse" element="sch:AddLocationInstanceResponse"/>
</message>
<message name="UpdateLocationInstance">
  <part name="UpdateLocationInstance" element="sch:UpdateLocationInstance"/>
</message>
<message name="UpdateLocationInstanceResponse">
  <part name="UpdateLocationInstanceResponse"
element="sch:UpdateLocationInstanceResponse"/>
</message>
<message name="DeleteLocationInstance">
  <part name="DeleteLocationInstance" element="sch>DeleteLocationInstance"/>
</message>
<message name="DeleteLocationInstanceResponse">
  <part name="DeleteLocationInstanceResponse"
element="sch>DeleteLocationInstanceResponse"/>
</message>
<message name="GetCapabilities">
  <part name="GetCapabilities" element="sch:GetCapabilities"/>
</message>
<message name="GetCapabilitiesResponse">
  <part name="GetCapabilitiesResponse" element="sch:GetCapabilitiesResponse"/>
</message>
```



【#024】: 地名辞典サービスのための WSDL 定義 XML を修正。

【【ドキュメント分類】と頁】 APPLIC-0006-2008-04

【対象ページ】 P39-P40

【間違いの内容】 binding 要素下 operation 要素の soapAction 属性の値を"" (空文字) から、operation 名に name 属性値に合わせた値に変更。

```
<binding type="tns:GazetteerService" name="GazetteerServicePortBinding">
  <soap:binding style="document" transport="http://schemas.xmlsoap.org/soap/http"/>
  <operation name="SearchPI">
    <soap:operation soapAction=""/>
    <input>
      <soap:body use="literal"/>
    </input>
    <output>
      <soap:body use="literal"/>
    </output>
  </operation>
  <operation name="GetLocationInstance">
    <soap:operation soapAction=""/>
    <input>
      <soap:body use="literal"/>
    </input>
    <output>
      <soap:body use="literal"/>
    </output>
  </operation>
  <operation name="AddLocationInstance">
    <soap:operation soapAction=""/>
    <input>
      <soap:body use="literal"/>
    </input>
    <output>
      <soap:body use="literal"/>
    </output>
  </operation>
  <operation name="UpdateLocationInstance">
    <soap:operation soapAction=""/>
    <input>
      <soap:body use="literal"/>
    </input>
    <output>
      <soap:body use="literal"/>
    </output>
  </operation>
  <operation name="DeleteLocationInstance">
    <soap:operation soapAction=""/>
    <input>
      <soap:body use="literal"/>
    </input>
    <output>
      <soap:body use="literal"/>
    </output>
  </operation>
</binding>
```

APPLIC 技術専門委員会 正誤表  
GIS 共通サービス標準仕様 (APPLIC-0006-2008-04)

```
</operation>
<operation name="GetCapabilities">
  <soap:operation soapAction=""/>
  <input>
    <soap:body use="literal"/>
  </input>
  <output>
    <soap:body use="literal"/>
  </output>
</operation>
</binding>
```

【正しい内容】

```
<binding type="tns:GazetteerService" name="GazetteerServicePortBinding">
  <soap:binding style="document" transport="http://schemas.xmlsoap.org/soap/http"/>
  <operation name="SearchPI">
    <soap:operation soapAction="SearchPI"/>
    <input>
      <soap:body use="literal"/>
    </input>
    <output>
      <soap:body use="literal"/>
    </output>
  </operation>
  <operation name="GetLocationInstance">
    <soap:operation soapAction="GetLocationInstance"/>
    <input>
      <soap:body use="literal"/>
    </input>
    <output>
      <soap:body use="literal"/>
    </output>
  </operation>
  <operation name="AddLocationInstance">
    <soap:operation soapAction="AddLocationInstance"/>
    <input>
      <soap:body use="literal"/>
    </input>
    <output>
      <soap:body use="literal"/>
    </output>
  </operation>
  <operation name="UpdateLocationInstance">
    <soap:operation soapAction="UpdateLocationInstance"/>
    <input>
      <soap:body use="literal"/>
    </input>
    <output>
      <soap:body use="literal"/>
    </output>
  </operation>
  <operation name="DeleteLocationInstance">
    <soap:operation soapAction="DeleteLocationInstance"/>
    <input>
      <soap:body use="literal"/>
    </input>
    <output>
```

APPLIC 技術専門委員会 正誤表  
GIS 共通サービス標準仕様 (APPLIC-0006-2008-04)

```
        <soap:body use="literal"/>
      </output>
    </operation>
    <operation name="GetCapabilities">
      <soap:operation soapAction="GetCapabilities"/>
      <input>
        <soap:body use="literal"/>
      </input>
      <output>
        <soap:body use="literal"/>
      </output>
    </operation>
  </binding>
```

【#025】: 地図表示サービスのための WSDL 定義を修正。

【【ドキュメント分類】と頁】 APPLIC-0006-2008-04

【対象ページ】 P41

【間違った内容】各要素に対する出現回数設定の誤記。

GetMap のメンバ「time」の最少出現回数 1 → 0 に修正。

GetMap のメンバ「scale」の最少出現回数 1 → 0 に修正。

GetMap のメンバ「bgColor」の最少出現回数 1 → 0 に修正。

GetMap のメンバ「rotation」の最少出現回数 1 → 0 に修正。

```
<xsd:element name="GetMap">
  <xsd:complexType>
    <xsd:sequence>
      <xsd:element name="共通ヘッダ" type="tns:共通ヘッダ情報"/>
      <xsd:element name="layers" type="tns:DrawLayer" minOccurs="0"
maxOccurs="unbounded"/>
      <xsd:element name="highlightFeatures" type="tns:FeatureIdentifier" minOccurs="0"
maxOccurs="unbounded"/>
      <xsd:element name="bBox" type="tns:BoundingBox"/>
      <xsd:element name="time" type="tns:Period"/>
      <xsd:element name="crs" type="xsd:string"/>
      <xsd:element name="scale" type="xsd:double"/>
      <xsd:element name="width" type="xsd:long"/>
      <xsd:element name="height" type="xsd:long"/>
      <xsd:element name="format" type="xsd:string"/>
      <xsd:element name="transparent" type="xsd:boolean"/>
      <xsd:element name="bgColor" type="xsd:string"/>
      <xsd:element name="rotation" type="xsd:long"/>
    </xsd:sequence>
  </xsd:complexType>
</xsd:element>
```

【正しい内容】

```
<xsd:element name="GetMap">
  <xsd:complexType>
    <xsd:sequence>
      <xsd:element name="共通ヘッダ" type="tns:共通ヘッダ情報"/>
      <xsd:element name="layers" type="tns:DrawLayer" minOccurs="0"
maxOccurs="unbounded"/>
      <xsd:element name="highlightFeatures" type="tns:FeatureIdentifier" minOccurs="0"
maxOccurs="unbounded"/>
      <xsd:element name="bBox" type="tns:BoundingBox"/>
      <xsd:element name="time" type="tns:Period" minOccurs="0"/>
      <xsd:element name="crs" type="xsd:string"/>
      <xsd:element name="scale" type="xsd:double" minOccurs="0"/>
      <xsd:element name="width" type="xsd:long"/>
      <xsd:element name="height" type="xsd:long"/>
      <xsd:element name="format" type="xsd:string"/>
      <xsd:element name="transparent" type="xsd:boolean"/>
      <xsd:element name="bgColor" type="xsd:string" minOccurs="0"/>
    </xsd:sequence>
  </xsd:complexType>
</xsd:element>
```

```
<xsd:element name="rotation" type="xsd:long" minOccurs="0"/>
</xsd:sequence>
</xsd:complexType>
</xsd:element>
```

---

【#026】: 地図表示サービスのための WSDL 定義を修正。

【【ドキュメント分類】と頁】 APPLIC-0006-2008-04

【対象ページ】 P41-P42

【間違いの内容】各要素に対する出現回数設定の誤記。

GetMapUrl のメンバ「time」の最少出現回数 1 → 0 に修正。

GetMapUrl のメンバ「scale」の最少出現回数 1 → 0 に修正。

GetMapUrl のメンバ「bgColor」の最少出現回数 1 → 0 に修正。

GetMapUrl のメンバ「rotation」の最少出現回数 1 → 0 に修正。

```
<xsd:element name="GetMapUrl">
  <xsd:complexType>
    <xsd:sequence>
      <xsd:element name="共通ヘッダ" type="tns:共通ヘッダ情報"/>
      <xsd:element name="layers" type="tns:DrawLayer" minOccurs="0"
maxOccurs="unbounded"/>
      <xsd:element name="highlightFeatures" type="tns:FeatureIdentifier" minOccurs="0"
maxOccurs="unbounded"/>
      <xsd:element name="bBox" type="tns:BoundingBox"/>
      <xsd:element name="time" type="tns:Period"/>
      <xsd:element name="crs" type="xsd:string"/>
      <xsd:element name="scale" type="xsd:double"/>
      <xsd:element name="width" type="xsd:long"/>
      <xsd:element name="height" type="xsd:long"/>
      <xsd:element name="format" type="xsd:string"/>
      <xsd:element name="transparent" type="xsd:boolean"/>
      <xsd:element name="bgColor" type="xsd:string"/>
      <xsd:element name="rotation" type="xsd:long"/>
    </xsd:sequence>
  </xsd:complexType>
</xsd:element>
```

【正しい内容】

```
<xsd:element name="GetMapUrl">
  <xsd:complexType>
    <xsd:sequence>
      <xsd:element name="共通ヘッダ" type="tns:共通ヘッダ情報"/>
      <xsd:element name="layers" type="tns:DrawLayer" minOccurs="0"
maxOccurs="unbounded"/>
      <xsd:element name="highlightFeatures" type="tns:FeatureIdentifier" minOccurs="0"
maxOccurs="unbounded"/>
      <xsd:element name="bBox" type="tns:BoundingBox"/>
      <xsd:element name="time" type="tns:Period" minOccurs="0"/>
      <xsd:element name="crs" type="xsd:string"/>
      <xsd:element name="scale" type="xsd:double" minOccurs="0"/>
    </xsd:sequence>
  </xsd:complexType>
</xsd:element>
```

APPLIC 技術専門委員会 正誤表  
GIS 共通サービス標準仕様 (APPLIC-0006-2008-04)

```
<xsd:element name="width" type="xsd:long"/>
<xsd:element name="height" type="xsd:long"/>
<xsd:element name="format" type="xsd:string"/>
<xsd:element name="transparent" type="xsd:boolean"/>
<xsd:element name="bgColor" type="xsd:string" minOccurs="0"/>
<xsd:element name="rotation" type="xsd:long" minOccurs="0"/>
</xsd:sequence>
</xsd:complexType>
</xsd:element>
```

---

【#027】: 地図表示サービスのための WSDL 定義を修正。

【【ドキュメント分類】と頁】 APPLIC-0006-2008-04

【対象ページ】 P43

【間違った内容】各要素に対する出現回数設定の誤記。

Coordinate のメンバ「z」の最少出現回数 1 → 0 に修正。

```
<xsd:complexType name="Coordinate">
  <xsd:sequence>
    <xsd:element name="z" type="xsd:double"/>
    <xsd:element name="y" type="xsd:double"/>
    <xsd:element name="x" type="xsd:double"/>
  </xsd:sequence>
</xsd:complexType>
```

【正しい内容】

```
<xsd:complexType name="Coordinate">
  <xsd:sequence>
    <xsd:element name="z" type="xsd:double" minOccurs="0" />
    <xsd:element name="y" type="xsd:double"/>
    <xsd:element name="x" type="xsd:double"/>
  </xsd:sequence>
</xsd:complexType>
```

【#028】: 地図表示サービスのための WSDL 定義を修正。

【【ドキュメント分類】と頁】 APPLIC-0006-2008-04

【対象ページ】 P43

【間違った内容】各要素に対する出現回数設定の誤記。

Coordinates のメンバ「z」の最少出現回数 0 → 1 に修正。

```
<xsd:complexType name="Coordinates">
  <xsd:sequence>
    <xsd:element name="elements" type="tns:Coordinate" nillable="true" minOccurs="0"
maxOccurs="unbounded"/>
  </xsd:sequence>
</xsd:complexType>
```

【正しい内容】

```
<xsd:complexType name="Coordinates">
  <xsd:sequence>
    <xsd:element name="elements" type="tns:Coordinate" nillable="true"
maxOccurs="unbounded"/>
  </xsd:sequence>
</xsd:complexType>
```

---

【#029】: 地図表示サービスのための WSDL 定義を修正。

【【ドキュメント分類】と頁】 APPLIC-0006-2008-04

【対象ページ】 P44

【間違った内容】各要素に対する出現回数設定の誤記。

SpatialInfo のメンバ「curve」の最少出現回数 1 → 0 に修正。

SpatialInfo のメンバ「surface」の最少出現回数 1 → 0 に修正。

SpatialInfo のメンバ「point」の最少出現回数 1 → 0 に修正。

```
<xsd:complexType name="SpatialInfo">
  <xsd:sequence>
    <xsd:element name="crs" type="xsd:string" nillable="true"/>
    <xsd:element name="curve" type="tns:Curve" nillable="true"/>
    <xsd:element name="surface" type="tns:Surface" nillable="true"/>
    <xsd:element name="point" type="tns:Point" nillable="true"/>
    <xsd:element name="spatialType" type="xsd:string" nillable="true"/>
  </xsd:sequence>
</xsd:complexType>
```

【正しい内容】

```
<xsd:complexType name="SpatialInfo">
  <xsd:sequence>
```

APPLIC 技術専門委員会 正誤表  
GIS 共通サービス標準仕様 (APPLIC-0006-2008-04)

```
<xsd:element name="crs" type="xsd:string" nillable="true"/>  
<xsd:element name="curve" type="tns:Curve" nillable="true" minOccurs="0" />  
<xsd:element name="surface" type="tns:Surface" nillable="true" minOccurs="0" />  
<xsd:element name="point" type="tns:Point" nillable="true" minOccurs="0" />  
<xsd:element name="spatialType" type="xsd:string" nillable="true"/>  
</xsd:sequence>  
</xsd:complexType>
```

---

【#030】: 地図表示サービスのための WSDL 定義を修正。

【【ドキュメント分類】と頁】 APPLIC-0006-2008-04

【対象ページ】 P44

【間違った内容】各要素に対する出現回数設定の誤記。

AttributeInfo のメンバ「attributeValue」の最少出現回数 1 → 0 に修正。

AttributeInfo のメンバ「attributeValue」の最大出現回数 1 → N に修正。

AttributeInfo のメンバ「binaryData」の最少出現回数 1 → 0 に修正。

AttributeInfo のメンバ「binaryData」の最大出現回数 1 → N に修正。

```
<xsd:complexType name="AttributeInfo">  
  <xsd:sequence>  
    <xsd:element name="attributeName" type="xsd:string" nillable="true"/>  
    <xsd:element name="attributeValue" type="xsd:string" nillable="true"/>  
    <xsd:element name="binaryData" type="xsd:base64Binary" nillable="true"/>  
  </xsd:sequence>  
</xsd:complexType>
```

【正しい内容】

```
<xsd:complexType name="AttributeInfo">  
  <xsd:sequence>  
    <xsd:element name="attributeName" type="xsd:string" nillable="true"/>  
    <xsd:element name="attributeValue" type="xsd:string" nillable="true" minOccurs="0"  
maxOccurs="unbounded"/>  
    <xsd:element name="binaryData" type="xsd:base64Binary" nillable="true" minOccurs="0"  
maxOccurs="unbounded"/>  
  </xsd:sequence>  
</xsd:complexType>
```



【#031】: 地図表示サービスのための WSDL 定義を修正。

【【ドキュメント分類】と頁】 APPLIC-0006-2008-04

【対象ページ】 P47

【間違いの内容】各要素に対する出現回数設定の誤記。

FeatureInfo のメンバ「spatialInfo」の最少出現回数 1 → 0 に修正。

```
<xsd:complexType name="FeatureInfo">
  <xsd:sequence>
    <xsd:element name="spatialInfo" type="tns:SpatialInfo" nillable="true"/>
    <xsd:element name="featureIdentifier" type="tns:FeatureIdentifier" nillable="true"/>
    <xsd:element name="attributeInfos" type="tns:AttributeInfo" nillable="true"
minOccurs="0" maxOccurs="unbounded"/>
  </xsd:sequence>
</xsd:complexType>
```

【正しい内容】

```
<xsd:complexType name="FeatureInfo">
  <xsd:sequence>
    <xsd:element name="spatialInfo" type="tns:SpatialInfo" nillable="true" minOccurs="0"/>
    <xsd:element name="featureIdentifier" type="tns:FeatureIdentifier" nillable="true"/>
    <xsd:element name="attributeInfos" type="tns:AttributeInfo" nillable="true"
minOccurs="0" maxOccurs="unbounded"/>
  </xsd:sequence>
</xsd:complexType>
```

【#032】: 地図表示サービスのための WSDL 定義を修正。

【【ドキュメント分類】と頁】 APPLIC-0006-2008-04

【対象ページ】 P45

【間違った内容】各要素に対する出現回数設定の誤記。

Period のメンバ「begin」の最少出現回数 1 → 0 に修正。

Period のメンバ「end」の最少出現回数 1 → 0 に修正。

```
<xsd:complexType name="Period">
  <xsd:sequence>
    <xsd:element name="begin" type="xsd:dateTime" nillable="true"/>
    <xsd:element name="end" type="xsd:dateTime" nillable="true"/>
  </xsd:sequence>
</xsd:complexType>
```

【正しい内容】

```
<xsd:complexType name="Period">
  <xsd:sequence>
    <xsd:element name="begin" type="xsd:dateTime" nillable="true" minOccurs="0" />
    <xsd:element name="end" type="xsd:dateTime" nillable="true" minOccurs="0" />
  </xsd:sequence>
</xsd:complexType>
```

【#033】: 地図表示サービスのための WSDL 定義を修正。

【【ドキュメント分類】と頁】 APPLIC-0006-2008-04

【対象ページ】 P45

【間違いの内容】各要素に対する出現回数設定の誤記。

GetCapabilities のメンバ「version」の最少出現回数 1 → 0 に修正。

GetCapabilities のメンバ「updateSequence」の最少出現回数 1 → 0 に修正。

```
<xsd:element name="GetCapabilities">
  <xsd:complexType>
    <xsd:sequence>
      <xsd:element name="共通ヘッダ" type="tns:共通ヘッダ情報"/>
      <xsd:element name="version" type="xsd:string"/>
      <xsd:element name="updateSequence" type="xsd:string"/>
    </xsd:sequence>
  </xsd:complexType>
</xsd:element>
```

【正しい内容】

```
<xsd:element name="GetCapabilities">
  <xsd:complexType>
    <xsd:sequence>
      <xsd:element name="共通ヘッダ" type="tns:共通ヘッダ情報"/>
      <xsd:element name="version" type="xsd:string" minOccurs="0" />
      <xsd:element name="updateSequence" type="xsd:string" minOccurs="0" />
    </xsd:sequence>
  </xsd:complexType>
</xsd:element>
```

【#034】: 地図表示サービスのための WSDL 定義を修正。

【【ドキュメント分類】と頁】 APPLIC-0006-2008-04

【対象ページ】 P45-P46

【間違った内容】各要素に対する出現回数設定の誤記。

LayerMetadata のメンバ「extent」の最少出現回数 1 → 0 に修正。

LayerMetadata のメンバ「metadataURL」の最少出現回数 1 → 0 に修正。

```
<xsd:complexType name="LayerMetadata">
  <xsd:sequence>
    <xsd:element name="crs" type="xsd:string" nillable="true"/>
    <xsd:element name="classNames" type="xsd:string" nillable="true" minOccurs="0"
maxOccurs="unbounded"/>
    <xsd:element name="styles" type="tns:LayerStyle" nillable="true" minOccurs="0"
maxOccurs="unbounded"/>
    <xsd:element name="minScale" type="xsd:double"/>
    <xsd:element name="subLayers" type="xsd:string" nillable="true" minOccurs="0"
maxOccurs="unbounded"/>
    <xsd:element name="layerName" type="xsd:string" nillable="true"/>
    <xsd:element name="maxScale" type="xsd:double"/>
    <xsd:element name="extent" type="tns:BoundingBox" nillable="true"/>
    <xsd:element name="caption" type="xsd:string" nillable="true"/>
    <xsd:element name="metadataURL" type="xsd:string" nillable="true"/>
    <xsd:element name="queryable" type="xsd:boolean"/>
  </xsd:sequence>
</xsd:complexType>
```

【正しい内容】

```
<xsd:complexType name="LayerMetadata">
  <xsd:sequence>
    <xsd:element name="crs" type="xsd:string" nillable="true"/>
    <xsd:element name="classNames" type="xsd:string" nillable="true" minOccurs="0"
maxOccurs="unbounded"/>
    <xsd:element name="styles" type="tns:LayerStyle" nillable="true" minOccurs="0"
maxOccurs="unbounded"/>
    <xsd:element name="minScale" type="xsd:double"/>
    <xsd:element name="subLayers" type="xsd:string" nillable="true" minOccurs="0"
maxOccurs="unbounded"/>
    <xsd:element name="layerName" type="xsd:string" nillable="true"/>
    <xsd:element name="maxScale" type="xsd:double"/>
    <xsd:element name="extent" type="tns:BoundingBox" nillable="true" minOccurs="0" />
    <xsd:element name="caption" type="xsd:string" nillable="true"/>
    <xsd:element name="metadataURL" type="xsd:string" nillable="true" minOccurs="0" />
    <xsd:element name="queryable" type="xsd:boolean"/>
  </xsd:sequence>
</xsd:complexType>
```

【#035】: 地図表示サービスのための WSDL 定義を修正。

【【ドキュメント分類】と頁】 APPLIC-0006-2008-04

【対象ページ】 P46

【間違いの内容】各要素に対する出現回数設定の誤記。

FaultCode のメンバ「description」の最少出現回数 1 → 0 に修正。

```
<xsd:complexType name="FaultCode">
  <xsd:sequence>
    <xsd:element name="code" type="xsd:string" nillable="true"/>
    <xsd:element name="message" type="xsd:string" nillable="true"/>
    <xsd:element name="description" type="xsd:string" nillable="true"/>
  </xsd:sequence>
</xsd:complexType>
```

【正しい内容】

```
<xsd:complexType name="FaultCode">
  <xsd:sequence>
    <xsd:element name="code" type="xsd:string" nillable="true"/>
    <xsd:element name="message" type="xsd:string" nillable="true"/>
    <xsd:element name="description" type="xsd:string" nillable="true" minOccurs="0" />
  </xsd:sequence>
</xsd:complexType>
```

【#036】: 地図表示サービスのための WSDL 定義を修正。

【【ドキュメント分類】と頁】 APPLIC-0006-2008-04

【対象ページ】 P43

【間違った内容】 GetFeatureInfo の element の記述不足を修正。

```
<xsd:element name="GetFeatureInfo">
  <xsd:complexType>
    <xsd:sequence>
      <xsd:element name="共通ヘッダ" type="tns:共通ヘッダ情報"/>
      <xsd:element name="updateSequence" type="xsd:string"/>
    </xsd:sequence>
  </xsd:complexType>
</xsd:element>
```

【正しい内容】

```
<xsd:element name="GetFeatureInfo">
  <xsd:complexType>
    <xsd:sequence>
      <xsd:element name="共通ヘッダ" type="tns:共通ヘッダ情報"/>
      <xsd:element name="getMap">
        <xsd:complexType>
          <xsd:sequence>
            <xsd:element name="layers" type="tns:DrawLayer" minOccurs="0"
maxOccurs="unbounded"/>
            <xsd:element name="highlightFeatures" type="tns:FeatureIdentifier"
minOccurs="0" maxOccurs="unbounded"/>
            <xsd:element name="bBox" type="tns:BoundingBox"/>
            <xsd:element name="time" type="tns:Period" minOccurs="0"/>
            <xsd:element name="crs" type="xsd:string"/>
            <xsd:element name="scale" type="xsd:double" minOccurs="0"/>
            <xsd:element name="width" type="xsd:long"/>
            <xsd:element name="height" type="xsd:long"/>
            <xsd:element name="format" type="xsd:string"/>
            <xsd:element name="transparent" type="xsd:boolean"/>
            <xsd:element name="bgColor" type="xsd:string" minOccurs="0"/>
            <xsd:element name="rotation" type="xsd:long" minOccurs="0"/>
          </xsd:sequence>
        </xsd:complexType>
      </xsd:element>
      <xsd:element name="queryLayers" type="tns:DrawLayer" minOccurs="1"
maxOccurs="unbounded"/>
      <xsd:element name="featureCount" type="xsd:long" minOccurs="0"/>
      <xsd:element name="position">
        <xsd:complexType>
          <xsd:sequence>
            <xsd:element name="i" type="xsd:long"/>
            <xsd:element name="j" type="xsd:long"/>
          </xsd:sequence>
        </xsd:complexType>
      </xsd:element>
    </xsd:sequence>
  </xsd:complexType>
</xsd:element>
```

【#037】: 地図表示サービスのための WSDL 定義 XML を修正。

【【ドキュメント分類】と頁】 APPLIC-0006-2008-04

【対象ページ】 P46-P47

【間違った内容】 message 要素下 part 要素の name 属性の値を修正。(実装系によっては、通信時交換データにおける共通ヘッダ配置不備(最後尾に配置)が発生する可能性の修正)  
name=parameters → name=メッセージ名に合わせた一意の値に修正。

```
<message name="GetMap">
  <part name="parameters" element="sch:GetMap"/>
</message>
<message name="GetMapResponse">
  <part name="parameters" element="sch:GetMapResponse"/>
</message>
<message name="GetMapUrl">
  <part name="parameters" element="sch:GetMapUrl"/>
</message>
<message name="GetMapUrlResponse">
  <part name="parameters" element="sch:GetMapUrlResponse"/>
</message>
<message name="GetLegendImage">
  <part name="parameters" element="sch:GetLegendImage"/>
</message>
<message name="GetLegendImageResponse">
  <part name="parameters" element="sch:GetLegendImageResponse"/>
</message>
<message name="GetFeatureInfo">
  <part name="parameters" element="sch:GetFeatureInfo"/>
</message>
<message name="GetFeatureInfoResponse">
  <part name="parameters" element="sch:GetFeatureInfoResponse"/>
</message>
<message name="GetCapabilities">
  <part name="parameters" element="sch:GetCapabilities"/>
</message>
<message name="GetCapabilitiesResponse">
  <part name="parameters" element="sch:GetCapabilitiesResponse"/>
</message>
```

【正しい内容】

```
<message name="GetMap">
  <part name="GetMap" element="sch:GetMap"/>
</message>
<message name="GetMapResponse">
  <part name="GetMapResponse" element="sch:GetMapResponse"/>
</message>
<message name="GetMapUrl">
  <part name="GetMapUrl" element="sch:GetMapUrl"/>
</message>
<message name="GetMapUrlResponse">
  <part name="GetMapUrlResponse" element="sch:GetMapUrlResponse"/>
</message>
```

APPLIC 技術専門委員会 正誤表  
GIS 共通サービス標準仕様 (APPLIC-0006-2008-04)

```
</message>
<message name="GetLegendImage">
  <part name="GetLegendImage" element="sch:GetLegendImage"/>
</message>
<message name="GetLegendImageResponse">
  <part name="GetLegendImageResponse" element="sch:GetLegendImageResponse"/>
</message>
<message name="GetFeatureInfo">
  <part name="GetFeatureInfo" element="sch:GetFeatureInfo"/>
</message>
<message name="GetFeatureInfoResponse">
  <part name="GetFeatureInfoResponse" element="sch:GetFeatureInfoResponse"/>
</message>
<message name="GetCapabilities">
  <part name="GetCapabilities" element="sch:GetCapabilities"/>
</message>
<message name="GetCapabilitiesResponse">
  <part name="GetCapabilitiesResponse" element="sch:GetCapabilitiesResponse"/>
</message>
```



【#038】: 地図表示サービスのための WSDL 定義 XML を修正。

【【ドキュメント分類】と頁】 APPLIC-0006-2008-04

【対象ページ】 P47-P48

【間違いの内容】 binding 要素下 operation 要素の soapAction 属性の値を"" (空文字) から、operation 名に name 属性値に合わせた値に変更。

```
<binding type="tns:MapService" name="MapServicePortBinding">
  <soap:binding style="document" transport="http://schemas.xmlsoap.org/soap/http"/>
  <operation name="GetMap">
    <soap:operation soapAction=""/>
    <input>
      <soap:body use="literal"/>
    </input>
    <output>
      <soap:body use="literal"/>
    </output>
  </operation>
  <operation name="GetMapUrl">
    <soap:operation soapAction=""/>
    <input>
      <soap:body use="literal"/>
    </input>
    <output>
      <soap:body use="literal"/>
    </output>
  </operation>
  <operation name="GetLegendImage">
    <soap:operation soapAction=""/>
    <input>
      <soap:body use="literal"/>
    </input>
    <output>
      <soap:body use="literal"/>
    </output>
  </operation>
  <operation name="GetFeatureInfo">
    <soap:operation soapAction=""/>
    <input>
      <soap:body use="literal"/>
    </input>
    <output>
      <soap:body use="literal"/>
    </output>
  </operation>
  <operation name="GetCapabilities">
    <soap:operation soapAction=""/>
    <input>
      <soap:body use="literal"/>
    </input>
    <output>
      <soap:body use="literal"/>
    </output>
  </operation>
</binding>
```

```
</operation>  
</binding>
```

【正しい内容】

```
<binding type="tns:MapService" name="MapServicePortBinding">  
  <soap:binding style="document" transport="http://schemas.xmlsoap.org/soap/http"/>  
  <operation name="GetMap">  
    <soap:operation soapAction="GetMap"/>  
    <input>  
      <soap:body use="literal"/>  
    </input>  
    <output>  
      <soap:body use="literal"/>  
    </output>  
  </operation>  
  <operation name="GetMapUrl">  
    <soap:operation soapAction="GetMapUrl"/>  
    <input>  
      <soap:body use="literal"/>  
    </input>  
    <output>  
      <soap:body use="literal"/>  
    </output>  
  </operation>  
  <operation name="GetLegendImage">  
    <soap:operation soapAction="GetLegendImage"/>  
    <input>  
      <soap:body use="literal"/>  
    </input>  
    <output>  
      <soap:body use="literal"/>  
    </output>  
  </operation>  
  <operation name="GetFeatureInfo">  
    <soap:operation soapAction="GetFeatureInfo"/>  
    <input>  
      <soap:body use="literal"/>  
    </input>  
    <output>  
      <soap:body use="literal"/>  
    </output>  
  </operation>  
  <operation name="GetCapabilities">  
    <soap:operation soapAction="GetCapabilities"/>  
    <input>  
      <soap:body use="literal"/>  
    </input>  
    <output>  
      <soap:body use="literal"/>  
    </output>  
  </operation>  
</binding>
```

【#039】: 共通ヘッダのための WSDL 定義 XML を修正。

【【ドキュメント分類】と頁】 APPLIC-0006-2008-04

【対象ページ】 P49

【間違った内容】 MsgID の出現回数定義不具合を修正。(× minOccurs 省略→○minOccurs=1)

```
<xsd:element name="MsgID">  
  <xsd:simpleType>  
    <xsd:restriction base="xsd:string">  
      <xsd:minLength value="0"/>  
      <xsd:maxLength value="1024"/>  
    </xsd:restriction>  
  </xsd:simpleType>  
</xsd:element>
```

【正しい内容】

```
<xsd:element name="MsgID" minOccurs="0">  
  <xsd:simpleType>  
    <xsd:restriction base="xsd:string">  
      <xsd:minLength value="0"/>  
      <xsd:maxLength value="1024"/>  
    </xsd:restriction>  
  </xsd:simpleType>  
</xsd:element>
```

【#040】: 地名辞典サービスのための項目セット辞書定義を修正。

【【ドキュメント分類】と頁】 APPLIC-0006-2008-04

【対象ページ】 P51

【間違った内容】・誤記を修正。

× GeographiBoundingBox → ○ GeographicBoundingBox

・出現回数の最小最大の出現回数が明確になるように記載変更。

項番	項目セット名	項目名	CD	データ型	桁数	出現回数	サンプル値	項目の説明
1	GeographiBoundingBox	min		S9V	13, 9	2		最小座標
		max		S9V	13, 9	2		最大座標
		crs		X	250	1		座標参照系
2	PI	value		N	N	1		地理識別子の値
		lrs		X	250	1		地理識別子による空間参照系の名称
3	Position	coord		S9V	13, 9	N	-8298.6812, ...	座標値
		crs		X	250	1		座標参照系

【正しい内容】

項番	項目セット名	項目名	CD	データ型 項目セット	桁数	出現回数		サンプル値	項目の説明
						最小	最大		
1	GeographicBoundingBox	min		S9V	13, 9	0	N	-36932.2861, -	最小座標
		max		S9V	13, 9	0	N	-34932.2861, -	最大座標
		crs		X	250	0	1	JGD2000 / 9 (X, Y)	座標参照系
2	PI	value		N	N	1	1	東京都港区虎ノ門二丁目9番14号	地理識別子の値
		lrs		X	250	1	1	urn:applic.or.jp:gisdb:lrs:address:2008-01	地理識別子による空間参照系の名称
3	Position	coord		S9V	13, 9	0	N	-8298.6812, ...	座標値
		crs		X	250	0	1	JGD2000 / 9 (X, Y)	座標参照系

【#041】: 地図表示サービスのための項目セット辞書定義を修正。

【【ドキュメント分類】と頁】 APPLIC-0006-2008-04

【対象ページ】 P53

【間違いの内容】 出現回数の最少最大の出現回数が明確になるように記載変更。

項番	項目セット名	項目名	CD	データ型 項目セット	桁数	出現 回数	サンプル値	項目の説明	
1	Gazetteer	name		X	250			名称	
		scope		N	250			スコープ	
		territoryOfUse		GeographicExt ent セット					地理的範囲
		custodian		N	1000			管理者	
		crs		X	250			座標参照系	
		date		TemporalExten tセット				時間範囲	
2	GazetteerService Metadata	version		X	30	1		地名辞典サービスインタ フェースのバージョン。本仕 様 (GIS共通サービス標準仕様 V2.0) に準拠する場合、“2.0” をセットする。	
		updateSequence		X	30	1		サービスメタデータの連番 GISユニットは任意の文字列を 返すことができる。サービス メタデータの内容が変更され たら連番を更新する。	
		gazetteer		Gazetteerセッ ト		0, N		地名辞典情報	
		gazetteerStatisti cs		GazetteerStat istics セット		0, N		地名辞典統計情報	
		canUpdateLocation Instance		boolean	1	1		場所インスタンスの登録可否	
		updateSequence		X	30	1		サービスメタデータの連番	
3	GazetteerStatisti cs	gazetteer		X	250			地名辞典名称	
		locationType		X	250			場所型名称	
		count		9	12			総データ件数	
4	GeographicExtent	boundingPolygon		Polygonセット		0, 1		ポリゴン	
		boundingBox		GeographicBou ndingBox セット		0, 1		矩形	
		description		N	250	0, 1		記述	
5	LocationInstance	PI		PIセット		1		PI 地理識別子と空間参照系の組 null は指定不可	
		locationType		X	250	1		場所型名称 null は指定不可	
		alternativeGeogra phicIdentifier		N	250	0, N		代替地理識別子 地理識別子の別名 代替地理識別子がない場合は null を指定する。	
		geographicExtent		GeographicExt ent セット		0, 1		地理的範囲 null は指定不可	
		position		Positionセッ ト		0, 1		位置 代表点の座標	
		administrator		N	250	0, 1		管理者 場所インスタンスの特質を定 義する責任がある組織の名前 null は指定不可	
6	Polygon	exterior		Ringセット		0, 1		外周座標列	
		interior		Ringセット		0, N		内周座標列のリスト	
7	Ring	coords		Position セット		N		座標列 交差しない閉図形を定義す る。始点と終点は一致する必 要がある。座標列は3 つ以上 の点を含まなければならない。 。	
		begin		dateTime		0, 1		開始時点 終了時点以前のすべての期間 を指定する場合はnull を指定 する。	
8	TemporalExtent	end		dateTime		0, 1		終了時点 開始時点以後のすべての期間 を指定する場合はnull を指定 する。	

APPLIC 技術専門委員会 正誤表  
GIS 共通サービス標準仕様 (APPLIC-0006-2008-04)

【正しい内容】

項番	項目セット名	項目名	CD	データ型 項目セット	桁数	出現回数		サンプル値	項目の説明	
						最小	最大			
1	Gazetteer	name		X	250	1	1	urn:applic.or.jp:gisdb:gazetteer:address:2008-01	地名辞典を識別する名称	
		scope		N	250	0	1	〇〇市における基幹系システムで扱う住所情報	スコープ	
		territoryOfUse		GeographicExtent セット			0	1		地理的範囲
		custodian		N	1000	0	1	APPLIC	管理者	
		crs		X	250	0	1	JGD2000 / (B.L)	座標参照系	
		date		TemporalExtent セット			0	1		時間範囲
2	GazetteerService Metadata	version		X	30	1	1	2.1	地名辞典サービスインタフェースのバージョン。本仕様 (GIS共通サービス標準仕様 V2.1) に準拠する場合、“2.1” をセットする。	
		updateSequence		X	30	1	1	00000001	サービスメタデータの連番 GISユニットは任意の文字列を返すことができる。サービスメタデータの内容が変更されたら連番を更新する。	
		gazetteer		Gazetteerセット			0	N		地名辞典情報
		gazetteerStatistics		GazetteerStatistics セット			0	N		地名辞典統計情報
		canUpdateLocationInstance		boolean	1	1	1	true		場所インスタンスの登録可否
3	GazetteerStatistics	gazetteer		X	250	1	1	urn:applic.or.jp:gisdb:gazetteer:address:2008-01	地名辞典名称	
		locationType		X	250	0	1	urn:applic.or.jp:gisdb:locationtype:address:2008-01	場所型名称	
		count		9	12	0	1	12345	総データ件数	
4	GeographicExtent	boundingPolygon		Polygonセット			0	1		ポリゴンによる地理的境界
		boundingBox		GeographicBoundingBox セット			0	1		矩形による地理的境界
		description		N	250	0	1	〇〇に囲まれた一帯	自由記述による地理的境界	
5	LocationInstance	PI		PIセット		1	1		地理識別子と空間参照系の組	
		locationType		X	250	1	1	urn:applic.or.jp:gisdb:locationtype:address:2008-01	場所型名称	
		alternativeGeographicIdentifier		N	250	0	N		代替地理識別子 地理識別子の別名。 代替地理識別子がない場合は指定を省略する。	
		geographicExtent		GeographicExtent セット		0	1		地理的範囲	
		position		Positionセット		0	1		位置 代表点の座標	
		administrator		N	250	0	1	APPLIC	管理者 場所インスタンスの特質を定義する責任がある組織の名前	
6	Polygon	temporalExtent		TemporalExtent セット		0	1		時間範囲 時間範囲を限定しない場合は指定を省略する。	
		exterior		Ringセット		0	1		外周座標列	
7	Ring	interior		Ringセット		0	N		内周座標列のリスト	
		coords		Position セット		0	N		座標列 交差しない閉図形を定義する。始点と終点は一致する必要がある。座標列は3 つ以上の点を含まなければならない。	
8	TemporalExtent	begin		dateTime		0	1	2000-01-01T12:00:00+09:00	開始時点 終了時点以前のすべての期間を指定する場合は指定を省略する。	
		end		dateTime		0	1	2009-03-31T12:00:00+09:00	終了時点 開始時点以後のすべての期間を指定する場合は指定を省略する。	

【#042】: 地図表示のための項目セット辞書(複合型)定義を修正。

【【ドキュメント分類】と頁】 APPLIC-0006-2008-04

【対象ページ】 P54-P55

【間違いの内容】 ・出現回数の最小最大の出現回数が明確になるように記載変更。

・各要素に対する出現回数設定の誤記。

APPLIC 技術専門委員会 正誤表  
GIS 共通サービス標準仕様 (APPLIC-0006-2008-04)

項番	項目セット名	項目名	CD	データ型 項目セット	桁数	出現回数	サンプル値	項目の説明
1	Coordinates	elements		Coordinate セット		0, N		座標のリスト
2	Curve	coordinates		Coordinates セット		N		座標列
3	FaultCode	code		X	250	1		エラーコード
		message		N	250	1		エラー内容
		description		N	250	0, 1		自由記述の説明文
4	FeatureInfo	featureIdentifier		FeatureIdentifier セット		1		地物識別子
		spatialInfo		SpatialInfo セット		0, 1		地物の図形情報
		attributeInfos		AttributeInfo セット		0, N		地物の属性情報のリスト
5	LayerMetadata	layerName		N	250			レイヤを一意に特定するための名前
		caption		N	250			レイヤの表示名
		crs		X	250			レイヤの座標座標系
		extent		BoundingBox セット				レイヤ内でデータが存在するの座標範囲 (左上、右下)
		metadataUrl		X	250			レイヤのメタデータのURL
		classNames		N	250			レイヤ内の地物型名のリスト
		queryable		boolean	1	1		地物検索の可否 true: 検索可能 false: 検索不可
		styles		LayerStyle セット		0, N		指定可能なスタイルのリスト
		minScale		9	30	1		表示する縮尺の最小分母
		maxScale		9	30	1		表示する縮尺の最大分母
6	LayerStyle	subLayers		N	30	0, N		下位レイヤの名前のリスト
		styleName		N	250	1		スタイルの名前
		caption		N	250	1		表示名
7	MapImage	legendStyles		LegendStyle セット		0, N		凡例スタイル情報のリスト
		extent		BoundingBox セット		1		
8	MapImageUrl	mapContent		base64Binary	N	1		地図画像のバイナリデータ等を格納するためにbase64エンコーディングした文字列を格納。
		extent		BoundingBox セット		1		座標範囲
9	OperationMetadata	mapUrl		X	250	1		地図画像リンクURL
		operationName		X	100			関数名
10	ParameterMetadata	parameterMetadata		ParameterMetadata セット		0, N		パラメータメタデータのリスト
		parameterName		N	100	1		パラメータ名 構造体の要素は、(ドット)で名前を連結する。
11	Period	values		N	N	1, N		指定可能な値 対応する演算子やフォーマットなど
		begin		dateTime		0, 1		開始時点 終了時点以前のすべての期間を指定する場合はnullを指定する。
12	Point	end		dateTime		0, 1		終了時点 開始時点以後のすべての期間を指定する場合はnullを指定する。
		coordinate		Coordinate セット		1		座標



【正しい内容】

項番	項目セット名	項目名	GD	データ型 項目セット	桁数	出現回数		サンプル値	項目の説明
						最小	最大		
1	Coordinates	elements		Coordinate セット		0	N		座標のリスト
2	Curve	coordinates		Coordinetes セット		1	N		座標列
3	FaultCode	code		X	250	1	1	GAZ00001	エラーコード
		message		N	250	1	1	Gazetteer not	エラー内容
		description		N	250	0	1	指定された地名辞典 が見つかりません。	自由記述の説明文
4	FeatureInfo	featureIdentifier		FeatureIdentif ier セット		1	1		地物の識別子
		spatialInfo		SpatialInfo セット		0	1		地物の図形情報
		attributeInfos		AttributeInfo セット		0	N		地物の属性情報のリスト
5	LayerMetadata	layerName		N	250	1	1	ElementarySchoolArea	レイヤを一意に特定するための 名前
		caption		N	250	1	1	小学校区	レイヤの表示名
		crs		X	250	1	1	JGD2000 / (B.L)	extent座標値の座標座標系
		extent		BoundingBox セット		0	1		レイヤ内でデータが存在する 座標範囲
		metadataUrl		X	250	0	1	http://www.applic.or.jp/gi s/metadata.html	レイヤのメタデータのURL
		classNames		N	250	0	N	建物型, 道路縁型, ...	レイヤ内の地物型名のリスト
		queryable		boolean	1	1	1	true	地物検索の可否 true: 検索可能 false: 検索不可
		styles		LayerStyle セット		0	N		指定可能なスタイルのリスト
		minScale		9	30	1	1	500	表示する縮尺の最小分母
		maxScale		9	30	1	1	100000	表示する縮尺の最大分母
subLayers		N	30	0	N		下位レイヤの名前のリスト		
6	LayerStyle	styleName		N	250	1	1	格子_青	スタイルの名前
		caption		N	250	1	1	小学校区	表示名
		legendStyles		LegendStyle セット		0	N		凡例スタイル情報のリスト
7	MapImage	extent		BoundingBox セット		1	1		
		mapContent		base64Binary	N	1	1		地図画像のバイナリデータ等 を格納するためにbase64エン コーディングした文字列を格 納。
8	MapImageUrl	extent		BoundingBox セット		1	1		座標範囲
		mapUrl		X	250	1	1	http://www.applic.or.jp/i mage/samplemap.jpg	地図画像リンクURL
9	OperationMetadata	operationName		X	100	1	1	GetMap	関数名
10	ParameterMetadata	parameterMetadata		ParameterMeta data セット		0	N		パラメータメタデータのリス ト
		parameterName		N	100	1	1	GetMap.format	パラメータ名 構造体の要素は、(ドット)で 名前を連結する。
11	Period	values		N	N	0	N	image/png, image/gif, ...	指定可能な値 対応する演算子やフォーマ ットなど
		begin		dateTime		0	1	2000-01-01T12:00:00 +09:00	開始時点 終了時点以前のすべての期間 を指定する場合はnullを指定 する。
		end		dateTime		0	1	2009-03-31T12:00:00 +09:00	終了時点 開始時点以後のすべての期間 を指定する場合はnullを指定 する。
12	Point	coordinate		Coordinete セット		1	1		座標